

DSM HUMBOLDT

# SIMPLIFIER MKII



ユーザーマニュアル

主な特徴.....	3
シグナルフロー図.....	3
PREAMP セクション.....	3
GAIN ノブ.....	4
PREAMP TYPE.....	4
TONE STACK.....	4
POWER AMP セクション.....	4
POWER DRIVE ノブ.....	4
POWER TYPE スイッチ.....	5
PRESENCE ノブ.....	5
RESONANCE ノブ.....	5
LEVEL ノブ.....	5
EFFECT LOOP.....	6
FX SEND.....	6
FX RETURN R.....	6
FX RETURN L.....	6
REVERB.....	6
REVERB ノブ.....	6
キャビネットシミュレーション.....	6
CAB TYPE スイッチ.....	6
SPEAKER COLOR ノブ.....	7
アウトプット.....	7
R 1/4 インチアンバランスアウトプット:.....	7
L 1/4 インチアンバランスアウトプット:.....	7
ヘッドフォンアンプ.....	7
サンプルセッティング.....	8
技術仕様.....	14
電源について.....	14
推奨電源:.....	14

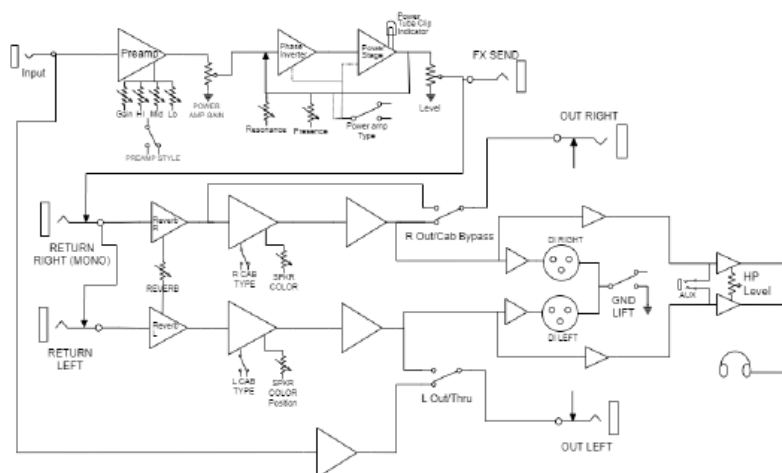
最先端のアナログアンプエミュレーションデバイス、SIMPLIFIER MK-II をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## 主な特徴

SIMPLIFIER MK-II は、ステレオリバーブを搭載した完全アナログのゼロワットギターアンプです。ルーティングとトーン調整のオプションも充実しています。主な特徴は以下のとおりです。

- 3種類のアンプタイプ (MS Brit、USA、AC Brit) を備えたプリアンプを搭載。
- ステレオ FX ループリターンを装備。
- ステレオリバーブを搭載。
- パワーアンプタイプ、パワーアンプドライブ、プレゼンス、レゾナンスを備えたパワーアンプシミュレーションを装備。
- 各チャンネルのキャビネットタイプとスピーカーカラーを備えたキャビネットシミュレーションを装備。
- グラウンドリフトを備えた 2 系統のバランス DI 出力を搭載。
- ボリュームコントロールと AUX 入力を備えたパワフルなヘッドフォンアンプを装備。

## シグナルフロー図



## PREAMP セクション

SIMPLIFIER MK-II は、最先端の低ノイズ、そして極めて汎用性の高いプリアンプを搭載し、3つの象徴的なクラシックアンプの特性を再現します。

## GAIN ノブ

プリアンプのゲイン/オーバードライブを設定します。非常にクリーンなサウンドから、フルスロットル時のミッド/ハイゲインまで調整可能です。このゲインとパワーアンプのゲインを組み合わせること、最適なコンプレッションとドライブのレベルを実現できます。

## PREAMP TYPE

以下のアンプタイプを選択できます。

- ・AC BRIT: クラシックな AC30 のトップブーストサウンドです。きらびやかで立体的なサウンドが特徴です。ノーマルチャンネルとブライツチャンネルを調整できます。60 年代から続く真の英国の伝統です。
- ・USA: クラシックな Bassman トーンです。甘くダイナミックなトーンとバランスの取れたレスポンスが得られます。スタジオレコーディングで最も多く使用されているアンプです。
- ・MS BRIT: ブリッジされた Hi/Lo 入力を備えた、クラシックなクリーンからクランチまでをこなす、ビンテージプレキシスタイルのアンプです。ロックミュージックを定義づけたサウンドです。

## STONE STACK

真空管アンプのサウンドとレスポンスにおいて重要な要素となるのが、トーンスタックの動作です。Simplifier のトーンスタックは、設定変更可能な 3 バンドクラシックアンプのトポロジーを踏襲しており、オリジナルアンプのフィーリング、レスポンス、そして相互作用を忠実に再現しています。  
注: AC BRIT タイプのプリアンプでは、MID コントロールは無効になっています(元のアンプに MID コントロールがないため)。

## POWER AMP セクション

パワーアンプセクションは、真のプッシュプルオールチューブアンプの挙動をモデリングしています。これには、真空管パワーアンプの真髄であるコンプレッション、クリッピング、バイアスドリフト、そして可変周波数特性が含まれます。

パワーアンプタイプセレクターは、各パワーアンプのトポロジー全体を変更し、各モデルの真空管タイプ、バイアス、フィードバック特性を変化させます。

## POWER DRIVE ノブ

パワーアンプドライブは、真空管アンプならではのスイートスポットに最適なパワーアンプコンプレッション量を調整します。クリップインジケータは、仮想パワー管がクリッピングし始めると視覚的に表示し、プリアンプとパワーアンプのゲインの最適なバランスを見つけるのに役立ちます。

この POWER DRIVE でプリアンプのゲインを補いましょう。プリアンプのゲインが低い場合は、ボリュームのロスを補い、トーンに甘さを加えるために、高いパワードライブが必要です。マイルドなクリッピングのあるプリアンプのトーンは、パワーアンプのコンプレッション効果によって大きく改善されます。コンプレッション効果はトランジェントを柔らかくし、最終的なトーンに厚みを与えます。高いプリアンプのゲインも POWER DRIVE によって調整されます。Power Drive を下げると、よりタイトで明るいトーンになり、上げると歌うようなクリーミーなトーンになります。ギターに最適なスイートスポットを見つけ、両方の長所を活かすことができ、ギターのボリュームコントロールで歪みを調整できます。

### **POWER TYPE スイッチ**

POWER TYPE スイッチは、3 種類のパワーアンプタイプを選択します。

- ・AC BRIT: 名高い AC30 パワーアンプをベースにした、非常にホットなバイアス回路を搭載したクラス AB アンプです。フィードバックのないアンプです。豊かな低音と低いヘッドルームを備え、クリーンな設定ではスクープされ、プッシュすると中域が豊かになります。非常にダイナミックなレスポンスです。
- ・USA: フィードバックの大きいクラス AB 6L6GC です。非常にフラットでバランスの取れたサウンドですが、オーバードライブすると甲高い音になります。
- ・MS Brit: フィードバックの少ないクラス AB EL34 です。豊かな低中域で、オーバードライブへのレスポンスがより安定しています。

### **PRESENCE ノブ**

プレゼンスノブは実機アンプと同様に実装されています。高域のフィードバックを抑え、パワーアンプへの高域をブーストします。パワーアンプタイプに AC Brit を選択した場合、プレゼンスはオリジナルアンプと同様にハイカットコントロールとして機能します。

### **RESONANCE ノブ**

レゾナンスは、パワーアンプへの低域のフィードバック量をコントロールします。このコントロールは実機アンプには搭載されていませんが、PA スピーカーのサイズに応じて低域のレスポンスを調整し、ブーミーな響きを回避できるようにするために追加しました。オリジナルアンプのトーンを再現するには、最大に設定してください。

### **LEVEL ノブ**

レベルノブは、エフェクトループへの最終レベルをコントロールします。

## EFFECT LOOP

SIMPLIFIER MK-II は、モノラルセンド/ステレオリターンのエフェクトループを備えています。RIGHT リターンのみを使用する場合、LEFT チャンネルには RIGHT 信号が送られます。LEFT リターンのみを使用する場合、RIGHT 信号は影響を受けません。

### FX SEND

FX センドはモノラル TS ジャックです。レベルはレベルノブでコントロールします。ループに接続するエフェクトの入力レベルに合わせて、このノブを調整してください。エフェクトがクリップする場合は、レベルを下げてください。

### FX RETURN R

FX リターン R ジャックは、右チャンネルのリバーブとキャビネットシミュレーターのパスの入力です。右チャンネルのリターンのみを使用する場合、左チャンネルには右チャンネルの信号が送られません。

### FX RETURN L

FX リターン L ジャックは、右チャンネルのリバーブとキャビネットシミュレーターのパスの入力です。左チャンネルのリターンのみを使用する場合、右チャンネルの信号は影響を受けません。

## REVERB

SIMPLIFIER MK-II は、豊かなステレオデジタルプレートリバーブとリバーブミックスコントロールを統合しています。

### REVERB ノブ

リバーブノブは、両チャンネルのリバーブミックスをコントロールします。

## キャビネットシミュレーション

市場で最も便利で革新的なキャビネットシミュレーションを開発してきた©DSM Noisemaker の伝統と経験を活かした、調整可能なキャビネットシミュレーターです。左右にパンニングされた 2 つの独立したキャビネットシミュレーターを簡単に調整できます。

### CAB TYPE スイッチ

3 ウェイトグルスイッチで、各サイドのキャビネットスタイルを個別に選択できます。1x12 コンボ、2x12、そして 4x12 の大型キャビネットシミュレーションから選択でき、チャンネルごとに 3 基のプリアンプと組み合わせることで、サウンド開発に新たな次元をもたらします。異なるキャビネットサイ

ズと異なるスピーカータイプ (Eminence ブラックフェイス、Celestion Blue Alnico、Celestion Greenbacks、あるいはそれらの中間のスピーカー) を組み合わせることも可能です。

## SPEAKER COLOR ノブ

このノブで、様々なスピーカータイプの高中域特性を切り替えることができます。このコントロールは、キャビネットから望ましい質感を引き出すために不可欠です。ブラックは、フェンダーコンボに代表されるヴィンテージの Eminence 高出力スピーカーをベースとしています。滑らかでバランスの取れたサウンドは、シングルコイルやフェンダープリアンプの耳障りな音を補正するのに最適です。ブルーは、アルニコブルースピーカーをベースとしており、中域が明瞭でありながら、耳障りではありません。グリーンはグリーンバックをベースとしており、マーシャルのジャンキーなトーンや、より明瞭なサウンドを求める場合に最適です。

## アウトプット

### ● LR バランス DI アウトプット:

左右の信号用のローインピーダンス(150Ω)XLR 出力です。グラウンドリフト機能も付いています。これらの出力は、キャビネットシミュレーションが常にオンの状態で最終出力を出力します。

注:DI 出力はファンタム電源電圧に耐えることができますが、音質に影響を与え、主に低域の歪みや低域の欠落を引き起こします。ご使用前にファンタム電源をオフにしてください。

### ● R 1/4 インチアンバランスアウトプット:

右信号用のアンバランス TS 出力です。「CABSIM(キャビネットシミュレーションバイパス)スイッチ」で、右サイドのキャビネットシミュレーションをバイパスできます。キャブシムをバイパスすると、プリアンプ、エフェクトループ、リバーブの各項目を経由した信号が出力されます。

### ● L 1/4 インチアンバランスアウトプット:

左信号用のアンバランス TS 出力です。「through」スイッチでデバイス全体をバイパスできます。「through」を選択した場合、信号は入力から取り出され、バッファーされます。

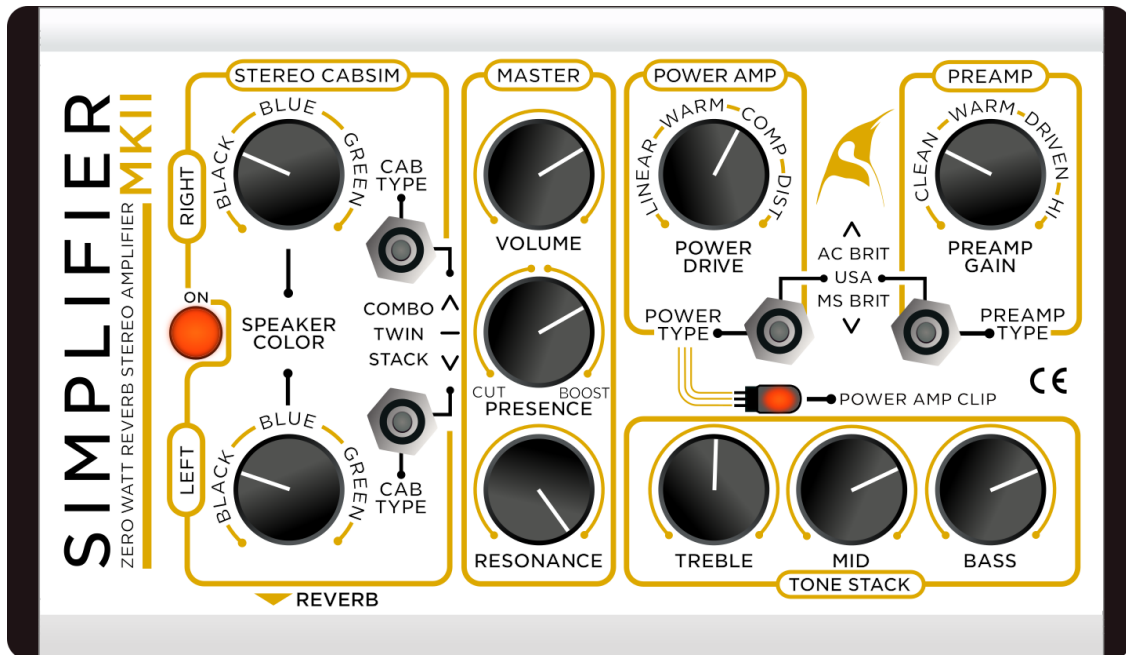
### ● ヘッドフォンアンプ

本機には、ステレオ AUX 入力を備えた 135mW のパワフルなステレオヘッドフォンアンプが搭載されており、深夜の静かな練習やインイヤーモニタリングに最適です。

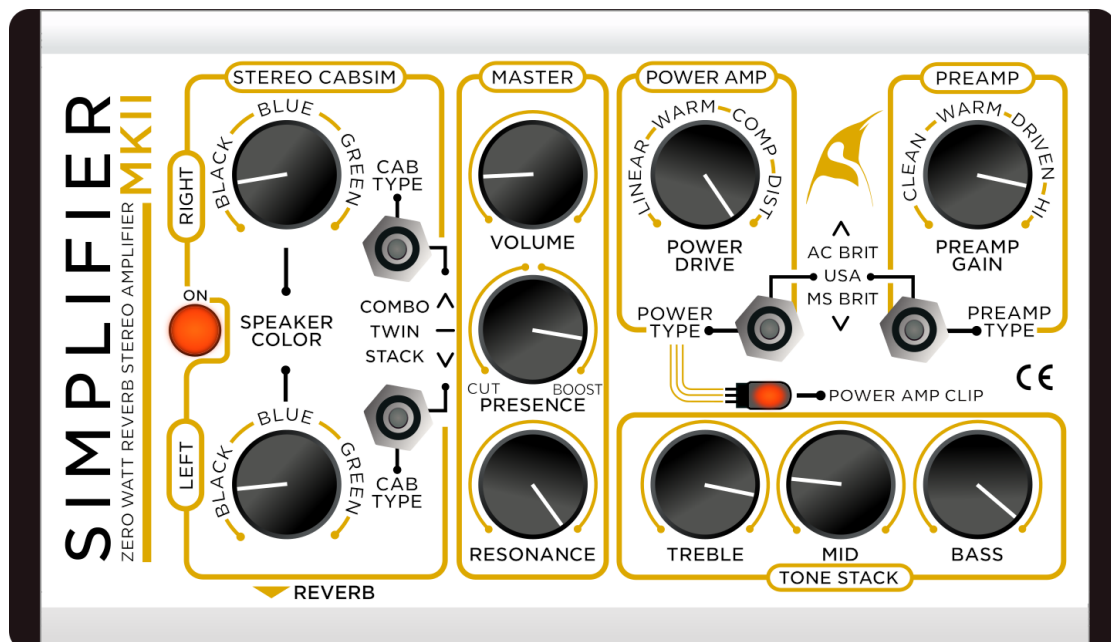
アンプは 32~96Ω のヘッドフォンで最適に動作します。

注:ヘッドフォンのみを使用する場合、使用する電源が直接グランドに接続されていない場合、グラウンドノイズの問題が発生する可能性があります。デバイスはアース電位を基準としていないため、不要なノイズが発生する可能性があります。アース基準電源、バッテリーパックを使用するか、出力をアースに接続されているデバイス(アンプやミキサーの入力など、電源がオフの場合でも)に接続してください。

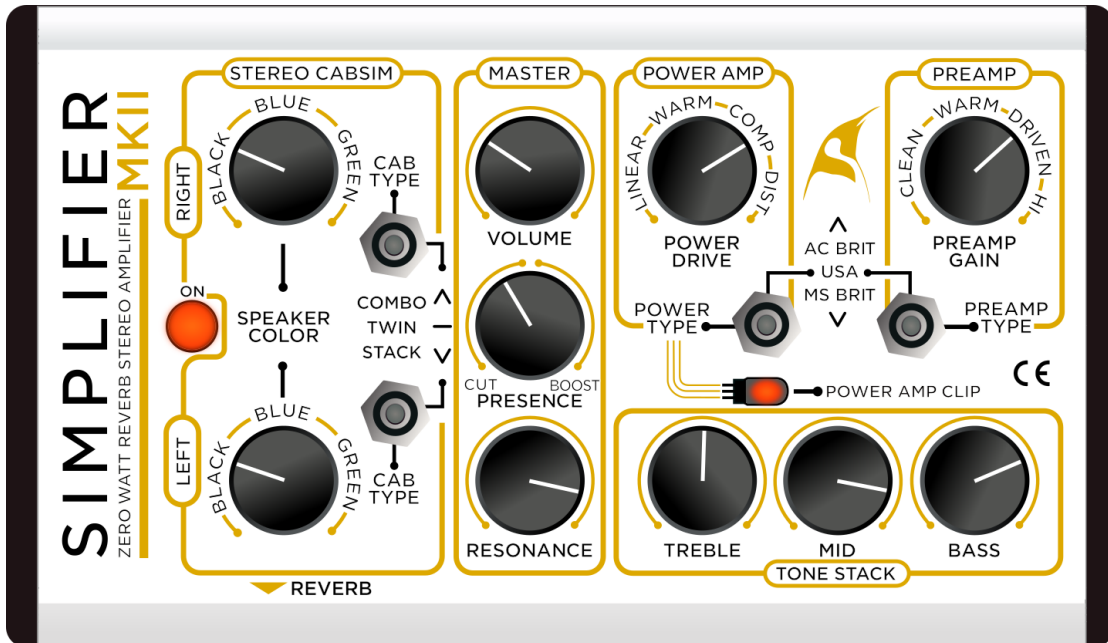
## サンプルセッティング



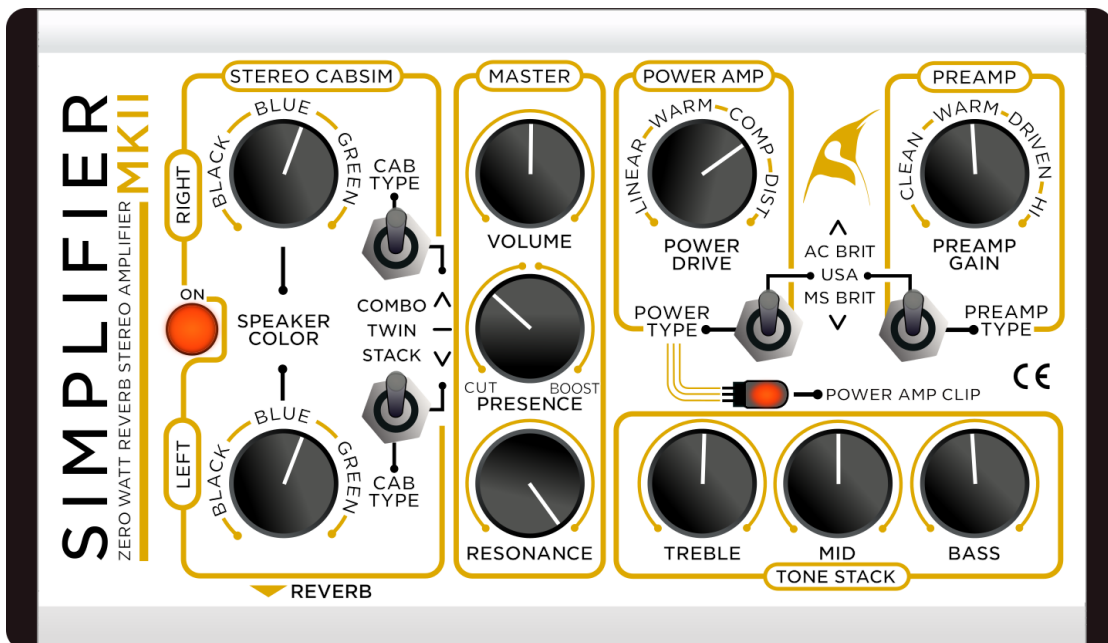
## Clean USA



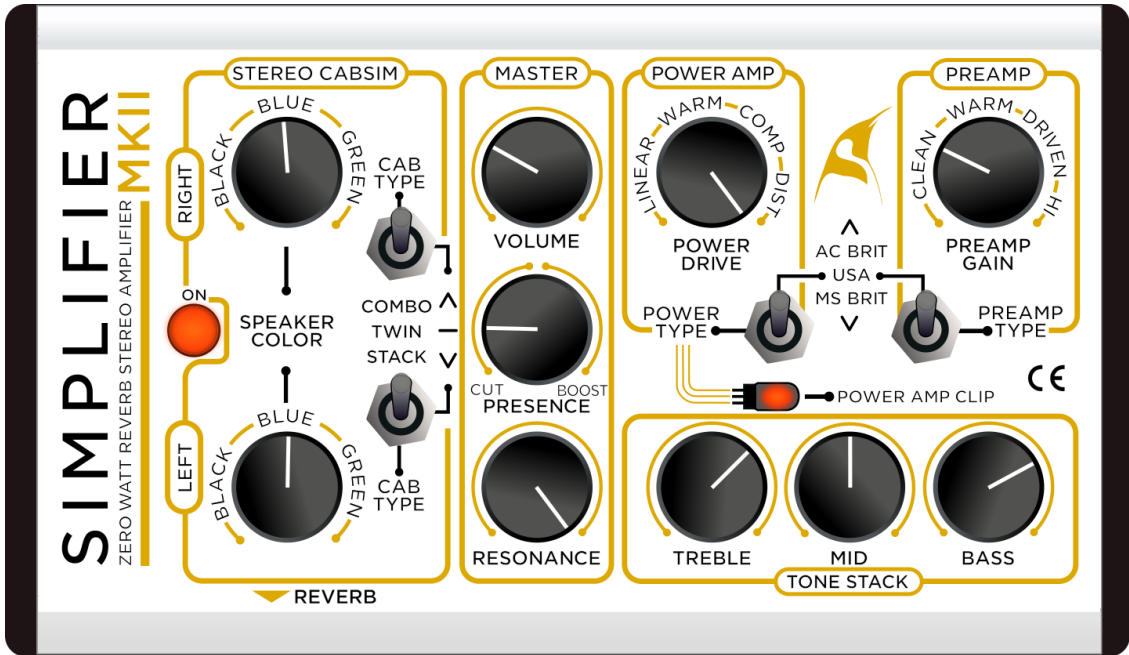
## Melting USA



## Bluesy USA



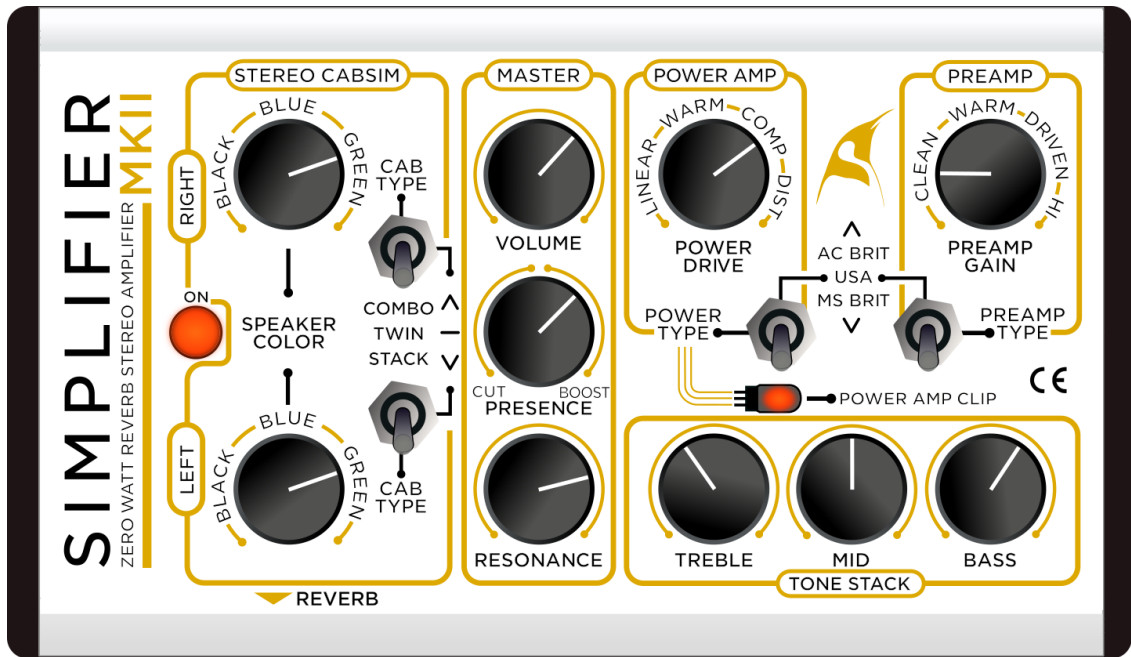
## Crispy AC



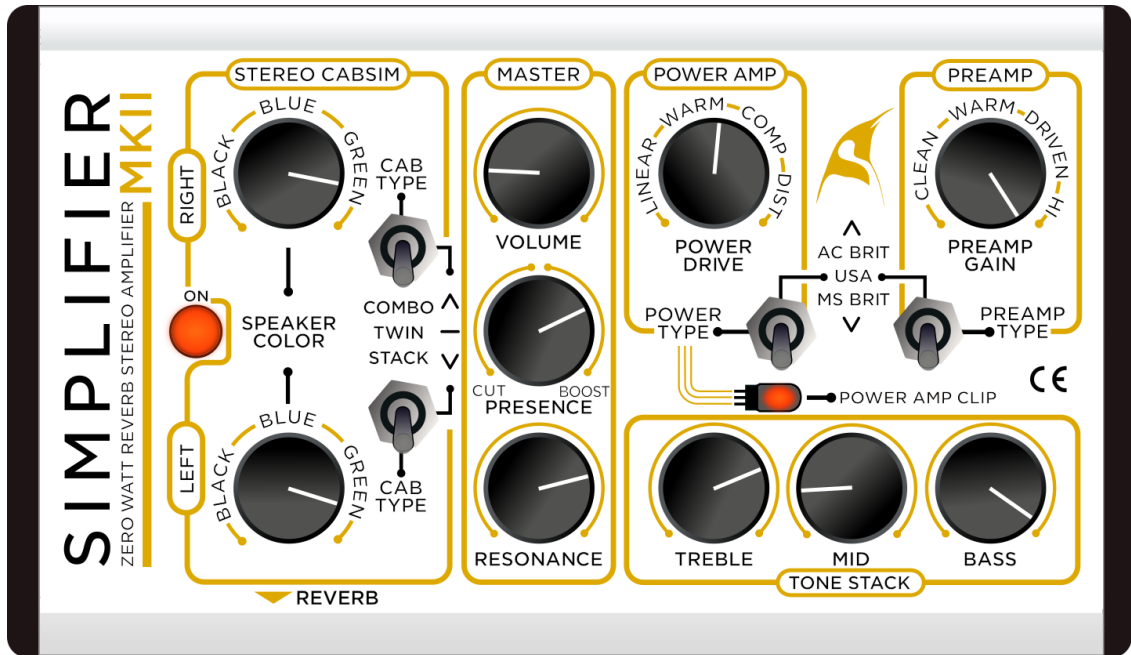
## Elevation AC



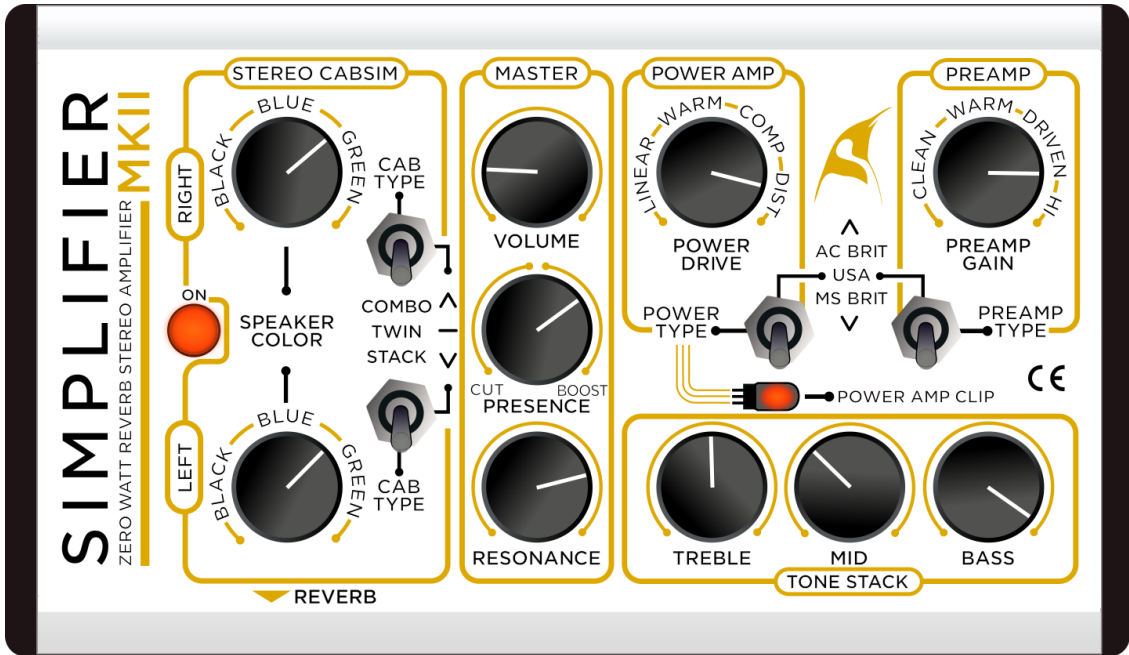
## Queen AC



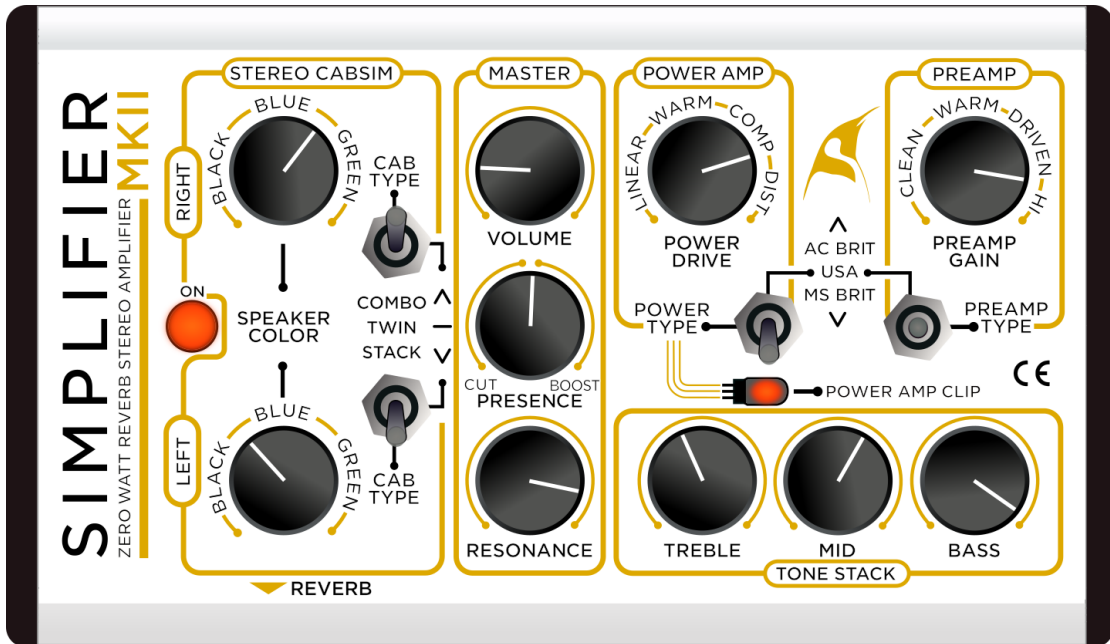
## Clean MS



## Hair MS



## 70's MS



## Big Smooth Custom



# Purple mix

## 技術仕様

- ・重量: 360 g (0.8 lb)
- ・寸法: 120 x 70 x 45 mm (4.7 x 2.7 x 1.8 inch)
- ・電源要件:  
電圧: 9~18V DC (安定化)  
コネクタ: 2.1 mm DC ジャック、センターマイナス  
消費電流: 120 mA  
推奨供給電流: 200 mA 以上
- ・入力インピーダンス:  
入力: 1 M $\Omega$   
L & R リターン: 1 M $\Omega$
- ・出力インピーダンス:  
送信: 1 k $\Omega$   
アンバランス出力: 4.7 k $\Omega$   
バランス出力: 100  $\Omega$
- ・ヘッドフォンアンプ仕様:  
出力: 135 mW (32  $\Omega$  負荷時)
- ・16、32、64、96  $\Omega$  のヘッドフォンで使用可能インピーダンスの高いヘッドフォンを使用すると、電力損失が発生する可能性があります。

## 電源について

- ・電源投入前に、信号を受ける機器 (PA、インターフェース、ヘッドフォンなど) の音量を下げてください。これは電源投入時のポップノイズを防ぐためです。
- ・SIMPLIFIER MK-II の電源に最適なのは、9V 安定化 DC アダプターを使用することです。クリーンな電圧源を使用し、高電流のデジタル機器とデジチェーン接続していないことを確認してください。

### 推奨電源：

電源の仕様は以下のとおりです。

- ・9V~12V DC 電圧
  - ・安定化 (低ノイズ、楽器用)
  - ・最低 150mA の電流定格が必要です。より高い電流定格の電源も使用できます。
  - ・センターマイナス
- ペダル用ではない安価な AC アダプターは使用しないでください。これらのアダプターはフィルター

や安定化機能がないため、ハムノイズなどの不要なノイズが発生します。

\* センタープラス電源は使用しないでください。本体が損傷する可能性があり、保証の対象外となります。電源を入れる前に、極性が正しいことを確認してください。